

神奈川シニア連合
機関紙

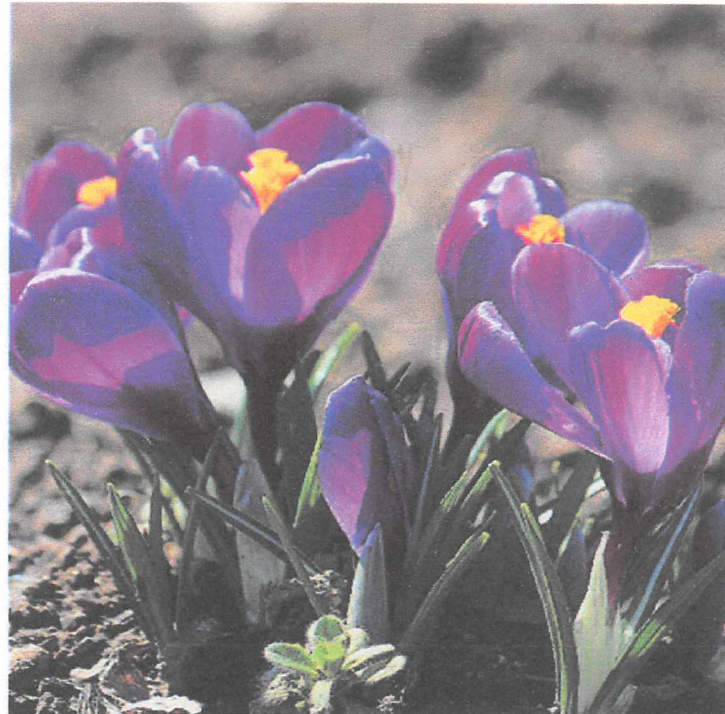
あゆみ

■発行 神奈川県退職者連合
 ■発行人 東谷裕明
 ■連絡先 〒231-0023
 横浜市中区山下町 24-1 連合神奈川内

2020年1月2日(月) 第83号

【TEL】045-211-1133 【FAX】045-201-8866 【E-mail】Senior@rengo.or.jp

「政策・制度」「組織拡大」「男女平等参画」 「ボランティア」等を主体に活動を推進



明けましておめでと〜ございます

昨年は年号が平成から令和へと代わり、ラクビーワールドカップでの善戦など嬉しい出来事もありましたが、水害等自然災害の多い年でもありました。日本は、スペインで開催されたCOP25では「化石賞」という不名誉な賞を授賞されたことになり

ますが、災害大国としてしっかりと対策を講じていって欲しいものです。

さて、今年は約半世紀ぶりに東京でオリンピック・パラリンピックが開催される記念すべき年です。前回女子バレーの金メダル

やマラソンで日本中が熱狂したり、東西ドイツが合同チームで参加したことを思えば時空の流れの速さをつくつく感じますが、今回も日本人選手の活躍を大いに楽しみにしているのは私だけではないと思います。

今年はず年「新しい運気のサイクルの始まりで、植物に例えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、未来への大いなる可能性を感じさせる」意味を持つといえます。

オリンピックと合わせ期待したいものです。

現在の日本は、世界が経験したことのない超高齢社会に突入し、全人口の21パーセントが高齢者だといえます。そして2065年には26人に一人が高齢者になると推定されています。これに伴い政府は、医療費等の社会保障給付費抑制のため、高齢者の負担増の方針です。私たちもそれぞれの収入に応じた応能負担について否

定するものではありませんが、安易な財政政策に起因する負担増には断固反対していかねばなりません。

安倍総理の在任期間が、憲政史上最長となり、衆議院議員の任期も二年を切り解散も取り沙汰されるようになりました。一強に对应するため野党は合流の検討を始めましたが、民意を無視し、やりたい放題の政治を正すため一刻も早く結論を出し団結すべきであり、来るべきその時には私たちも現退一致で全力を尽くしたいと思えます。

今年もシニア連合の活動は「政策・制度」「組織拡大」「男女平等参画」「ボランティア」等に主体を置いた活動を進めることになりませんが、各組織のご協力をお願いするごも、会員皆様方のご多幸を祈念し新年の挨拶いたします。



神奈川シニア連合
会長 池田捷治

2020年度第1回幹事会

安心感のある政治・生活に向け頑張る



神奈川シニア連合2020年度第1回幹事会は、12月23日(月)15時00分からワークピア横浜において開催され、総会決定に基づいた専門委員会の設置や年間活動計画等が意思統一されました。

会議は、議長の小川 進幹事(JAM)の開会のあいさつで始まり、池田会長は、「この一年の主な出来事を振り返るとともに」「安倍首相は、アベノミクスの成果を強調するが、サンフランシスコでは1400万円、ニューヨークでは935万円未満が低所得者と言われ、日本は300万円未満が低所得者である。OECDの統計で過去21年間の日本の実質賃金は、主要国で唯一マイナス89.7であり、日本経済は低迷していると言えないか。全世代型

社会保障会議では、高齢者の医療費や介護費の2割負担などを行いつついる。また、2020年度の予算編成は、一般会計総額の102.7兆円の内、社会保障費は過去最高の35.9兆円となっているが、医療・介護費用は当初計画から1200億円圧縮されている。シニア連合は、少子高齢化や災害対策など後世に負担を先送りしない安心感のある政治や生活を求め、引き続き皆さんと協力して頑張りたい」と挨拶。

続いて、第28回総会以降の活動報告が承認された後、協議事項の①2020年度役員と役員連絡名簿について、②シニア連合2020年度会費(公担金)の納入について、③年間日程について、④事務局の運営と要綱事項等について、⑤専門委員会設置と構成・活動について、⑥第30回神奈川シニア集会について、⑦「ボランティア活動」と「ボランティア基金」について、⑧施設見学の実施と視察研修旅行に代わる施策の検討に

ついて、⑨「核兵器廃絶1000万署名」の取り組みについて議論が行われました。幹事から①役員名簿の記載の考え方について、②視察研修旅行は、本年度実施後に変更を検討するよう再考を求めらる。③施設見学については、特養老人ホームの実態や違いなどを学べる機会を作ってほしいとの要望・意見があり、東谷事務局長から、①役員名簿の記載を変えた理由、②要綱等については、再度五役会で検討するなどの見解が示されました。

その後、2月17日(月)に開催予定の2020年度第2回幹事会までの日程を確認し、会議は終了しました。

「ボランティア基金」川崎市と相模原市に寄付

2018年度から取り組んでいる「ボランティア基金」は、総額で177,208円となっており、神奈川シニア連合「ボランティア基金」運営要綱に基づいて12月23日(月)に開催された2020年度・第1回幹事会において「台風19号の被災地である川崎市と相模原市にそれぞれ70,000円寄付する」ことが決定されました。今後、運営委員会(神奈川シニア連合五役)が速やかに寄付行為を行います。



核兵器廃絶を求める1000万署名の成功を

- 神奈川シニア連合は、連合とともに日本政府と国連に対し、核兵器廃絶と恒久平和を求め1000万署名を取り組んでいます。全員の協力をお願いします。
- 2020年NPT再検討会議で、核兵器廃絶への着実な進捗が合意されます。
- 「核兵器禁止条約」について、日本政府は早急に批准することを、各国政府はその発効をめざし、未来世代に対する役割を果たすことを呼びかけます。
- 2020年までに世界中のあらゆる核兵器の廃絶を実現しましょう。